

王子プール解体撤去工事

工事説明会資料

施工業者:株式会社 大野

目 次

1. 工事概要	-----	1
2. 作業時間及び休日作業について	-----	1
3. 工事工程について	-----	1
4. 工事車両の運行及び安全対策について	-----	2
5. 仮設計画について	-----	2
6. 騒音・振動・粉じんの防止対策について	-----	2
7. アスベスト(石綿)の事前調査について	-----	2
8. 工事現場の管理について	-----	2~3
9. 家屋調査について	-----	3
10. 工事期間中の問合せについて	-----	3

<添付資料>

- ① 「総合工程表」
- ② 「工事車両運行経路図」
- ③ 「仮設計画図」
- ④ 「油圧式圧砕工法施工例」
- ⑤ 「アスベスト(石綿)撤去工法・対策について」
- ⑥ 「近隣家屋調査範囲図」

1、工事概要

- (1)工事名称 王子プール解体撤去工事
- (2)工事場所 神戸市灘区王子町3丁目1-1
- (3)工事内容 建屋解体撤去工事(石綿除去工事含む) 一式
外構(プール共)解体撤去工事 一式
整地工事 一式
上記に伴う電気設備・機械設備工事 一式
- (4)工期 令和6年9月～令和7年5月(予定)
- (5)事業主体 神戸市建設局王子公園再整備本部王子公園再整備課
- (6)工事監理 神戸市建築住宅局建築課・設備課
- (7)施工業者 株式会社 大野

2、作業時間及び休日作業について

(1)作業時間

原則として、月曜日～金曜日の午前8時～午後6時までとします。

※前後30分は準備・片付けを行います。

※大型工事車両の出入りについて、近隣の学校の登校時間(午前8時～午前9時)は工事車両の出入りを行いません。

下校時間(午後2時～午後5時)は交通整理員を配置し、歩行者優先で安全を確保します。

※道路交通法上、上記時間帯に走行できない車両(セミトレーラー等)については午後9時以降又は午前6時までに、入場する場合があります。

※災害時・緊急時などは、工事現場の安全確保のため、また、工程上やむを得ず上記時間外に作業を行う場合があります。

(2)休日作業

土曜日、日曜日、祝日は原則として作業を行いません。

但し、工程上やむを得ず作業を行う場合は、騒音・振動の少ない作業とし工事掲示看板にて事前にお知らせします。

3、工事工程について

令和6年9月中旬に工事着手し、令和7年5月30日の工事完了を予定しています。

添付資料①「総合工程表」をご参照ください。

4、工事車両の運行及び安全対策について

- ・工事車両運行経路は、添付資料②「工事車両運行経路図」をご参照ください。
- ・工事車両は、市道長田・楠・日尾線の王子3丁目交差点より進入し、王子プール西側道路から進入します、退場も同様です。
- ・現場出入口には、交通誘導員を配置し歩行者の安全確保に努めます。
交通誘導員は、工事期間中は常時1名配置し、資材・機械等搬入時及び廃材等搬出時は1名増員します。又歩道沿い(西面)の仮設乗入れ改修時及びコンクリート堀取壊し時は、2名増員して作業を行います。
- ・工事車両の現場入退場は、交通誘導員により歩行者の安全を確保して、入退場を行います。
- ・工事期間中は、周辺道路を汚さない様、現場出入口には洗車設備を設けるとともに、適宜巡回のうえ周辺の清掃を行います。
- ・工事関係車両にはフロントガラスに関係車両表示するとともに、緊急時を除き、王子プール西側の道路上に工事車両の駐車は行いません。

5、仮設計画について

- ・仮設計画は、添付資料③「仮設計画図」をご参照ください。

6、騒音・振動・粉じんの防止対策について

- ・工事中は、騒音、振動、粉じんを完全になくすことは難しいですが、低騒音・低振動型の建設機械を使用し、騒音及び振動の低減に努めます。
- ・解体に当たっては、騒音の少ない油圧式圧砕工法を採用します。
- ・解体建物周囲には解体用足場を設置し、防音パネルを張るとともに、高圧洗浄機で散水を行いながら解体することで、工事による騒音や粉じんの飛散防止に努めます。
- ・騒音、振動が法定基準値を超えることがないよう、騒音振動計を設置し管理します。

7、アスベスト(石綿)の事前調査について

- ・建物内外のアスベスト調査・分析を行った結果、アスベスト含有建材の使用が確認されています。これらについては法令を遵守し、適正に処置を行います。
詳しい含有箇所、処置方法については、添付資料⑤「アスベスト(石綿)撤去工法・対策について」をご参照ください。

8、工事現場の管理について

- ・工事現場の管理は、労働基準法、労働安全衛生法、その他諸法令に基づいて行い、災害・第三者災害及び事故防止に努めます。
- ・作業時間中は、施工業者の責任者が常駐し現場の管理にあたります。
- ・現場出入口の施錠について、原則として車両出入りの都度開閉を行い、関係者以外の進入を防止します。
又、作業終了後は作業員の退出、安全等の確認を行い施錠します。

9、家屋調査について

- ・本格的な工事の着手に先立ち、工事現場の直近の住宅に家屋調査(室内・室外・傾斜測定・水平測定)を実施する予定です。
該当するご自宅の方に、こちらから訪問させていただき、詳細な調査方法のご説明と調査日のご相談をさせていただきます。
(ご都合のよい日を決めて頂き、調査させていただきます。)
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
家屋調査範囲は、添付資料⑥「家屋調査範囲」をご参照ください。

10、工事期間中の問合せについて

以上、細心の配慮をもって工事を進めてまいります。工事期間中にお気づきの点がございましたら、下記までご連絡をお願いします。

【施工業者】

株式会社 大野 現場代理人:藤原博行
携帯:090-3288-1739

【工事に関すること】

神戸市建築住宅局建築課・設備課
電話:078-595-6593

【事業に関すること】

神戸市建設局王子公園再整備本部王子公園再整備課
電話:078-322-5935

添付資料①総合工程表

王子プール解体撤去工事		総合工程表										(株)大野	
		令和6年					令和7年						
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
工事ステップ													
				ステップ①仮囲い・解体養生					ステップ⑤建屋解体				
					ステップ②アスベスト除去		ステップ④外構解体						
						ステップ③内装解体					ステップ⑥敷地整地		
準備工事													
工事説明会													
家屋調査													
現地調査・各種申請手続き													
仮設工事													
工事出入口改修													
仮囲い													
外部足場													
アスベスト撤去工事													
内外装材石綿撤去													
解体工事													
内装撤去													
建屋解体撤去													
外構撤去(プール含む)													
西面擁壁解体													
その他													
整地工事													
騒音を伴う作業													
車両出入予定													

ステップ①仮囲い・解体養生

ステップ⑤建屋解体

ステップ②アスベスト除去

ステップ④外構解体

ステップ③内装解体

ステップ⑥敷地整地

解体完了箇所から随時撤去

比較的軽度の騒音作業

騒音・振動の大きな作業

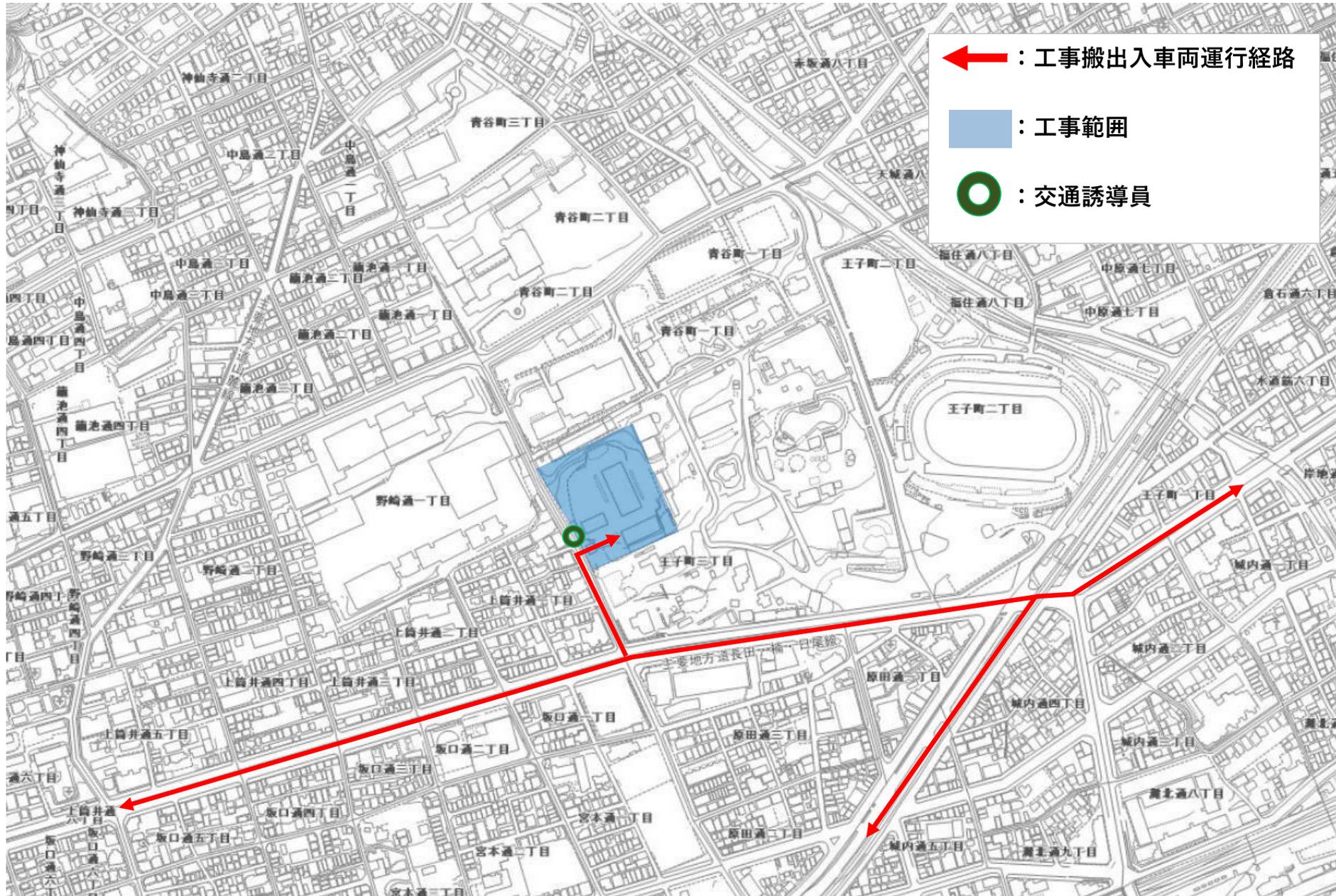
資材搬出入(4t~8tトラック・ダンプ)~5台

資材搬出(4t~8tトラック・ダンプ)~3台

資材搬出入(10tダンプ)10~30台

各種検査

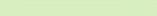
添付資料②工事車両運行経路図



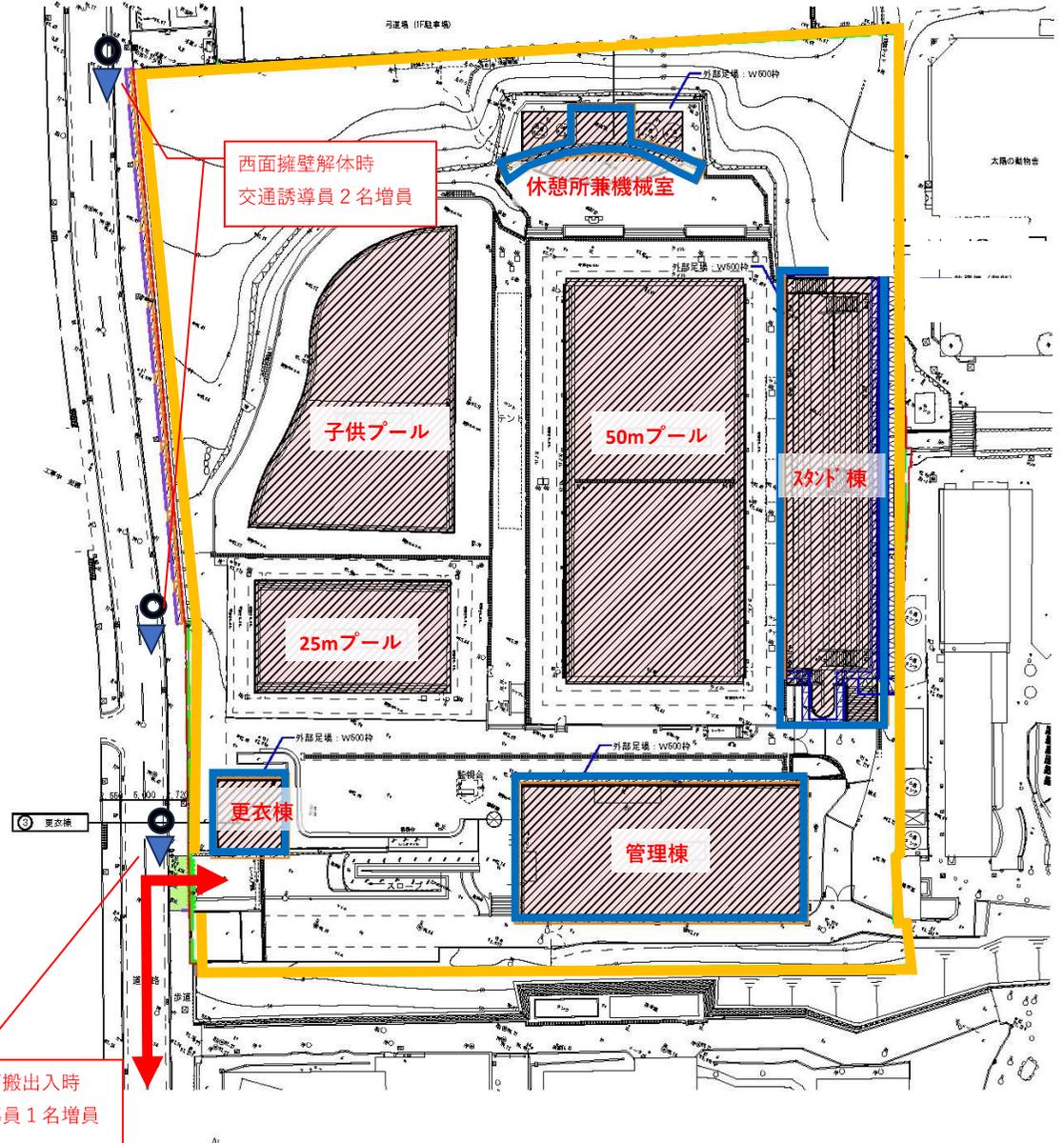
添付資料③仮設計画図

ステップ①：仮囲い設置・建物解体養生（足場設置・防音パネル）
令和6年9月下旬～令和6年11月下旬
ステップ②：アスベスト除去
令和6年11月中旬～令和6年12月下旬
ステップ③：内装解体
令和6年12月初旬～令和7年1月下旬
ステップ④：外構解体
令和6年11月上旬～令和7年4月中旬
ステップ⑤：建屋解体
令和7年1月下旬～令和7年3月下旬
ステップ⑥：敷地整地
令和7年4月中旬～令和7年5月上旬

工事車両の進入・退出

	工事車両進入出経路
	仮囲い（フラットパネル 高さ3M）
	外部足場
	パネルゲート_工事車両出入り口
	工事出入り口改修箇所
	交通整理員1名 (大型車両搬出入時：2名) (西面コンクリート塀撤去時：3名)

- ・ 歩行者、一般車両優先での運行を行います。
- ・ 警察、道路管理者と協議の上、法令に則り、事故の無いよう行います。



添付資料③仮設計画図



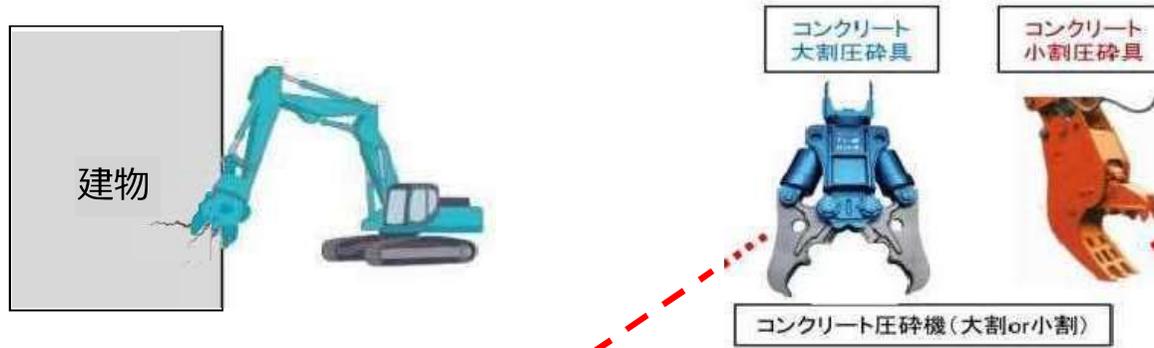
仮囲いイメージ（成形鋼板）



防音パネルイメージ

添付資料④油圧式圧砕工法施工例

油圧式圧砕工法施工例



圧砕機にて躯体を解体

圧砕機を使い、鉄骨や鉄筋を切断します。
油圧式の利用により、その他の圧砕機より
小さな振動・騒音で工事を行うことができ
ます。



躯体解体時の散水

躯体解体時に発生する粉塵やホコリが、
なるべく飛ばないように散水します。



コンクリートの小割り

圧砕機で砕いたコンクリートを、さらに
小さくして搬出します。

添付資料⑤アスベスト（石綿）撤去工法・対策等について

アスベスト（石綿）について

アスベスト（石綿）は天然の繊維状の鉱物で、その粉じんを吸入することにより中皮腫、肺がんなどの重篤な健康障害を引き起こす恐れがあります。調査の結果、本工事で解体予定の建物にアスベスト（石綿）含有建材があることが判明しましたので、以下のよう
に適正に対処いたします。

1. アスベスト調査について

本工事においては下記の通り、予備調査としてアスベスト調査を行いました
また、建物解体前に再度、アスベスト事前調査を行います。

予備調査終了日：令和5年2月3日

令和6年3月21日

調査方法：関係書類及び現場目視調査により、対象建築物の確認、試料採取、分析調査

調査分析機関：中外テクノス株式会社、公益財団法人ひょうご環境創造協会

分析方法：日本工業規格（JIS）A1481-1

調査の結果、本工事で確認されている石綿（アスベスト）は発じんの飛散度合いが一番低い
レベル3と判明しております。

※1 石綿（アスベスト）の種類にはクリソタイト（白石綿）、クロシドライト（青石綿）、アモサイト（茶石綿）、トレモライト・アンソフィライト・アクチノライトの6種類があり、
これらすべての種類に石綿を0.1重量パーセントを超えて含む物が石綿障害予防規則（石綿
則）等の規則の対象になっております。

※2 アスベスト含有建材に発じんの度合いにより「レベル1～3」に便宜的に分類されてい
ます。レベル1は、もっとも飛散性の高いアスベスト含有建材であり、吹付けアスベストな
どが分類されてます。次に飛散性の高いレベル2にはアスベスト含有保湿剤、断熱材、耐火
被覆材が分類されます。レベル3はそれ以外のアスベスト含有建材が分類され、成形板の
仕上げ材料が多くあります。（作業レベルとしてレベル1～3を分類する便宜的に主な建材
の区分としても使用されています。）

2. 予備調査結果について

アスベスト含有建材一覧表

石綿含有仕上塗材				
場 所（棟、使用部位）	塗装種別	石綿含有箇所	使用数量	工 法
外部 ①管理棟:腰壁	モルタル	○下地調整材	19.0 m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン
外部 ①管理棟:外壁・玄関ホール	磁器タイル	○モルタル材	236.5 m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン ○足場控え設置（集じん装 置付ド リル削孔機） ○タイル面研り
外部 ①管理棟:外壁	吹付タイル	○下地調整材	20.4 m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン ○足場控え設置（集じん装 置付ド リル削孔機）
外部 ①管理棟:手洗い場・壁	吹付タイル	○仕上塗材	13.3 m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン
外部 ①管理棟:手洗い場・壁	陶器タイル	○接着剤	13.3 m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン ○タイル面研り
内部 ①管理棟:壁・巾木	VP	○仕上塗材	309.9 m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン
内部 ①管理棟:壁	吹付タイル	○下地調整材	374.4 m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン
内部 ①管理棟:壁・腰壁	陶器タイル	○接着剤	100.1 m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン ○タイル面研り
外部 ②スタンド:外壁	マステック	○下地調整材	941. 6m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン ○足場控え設置（集じん装 置付ド リル削孔機）
内部 ②スタンド:壁	VP	○下地調整材	286.0 m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン
外部 ④休憩所兼機械室:外壁	マステック	○下地調整材	187.1 m ²	○集じん装置付デ イスクグライン ダークレン ○足場控え設置（集じん装 置付ド リル削孔機）
石綿含有建材（成形板）				
室 名（使用部位）	種 別	厚 さ	使用数量	工 法
①管理棟：外部軒天、内部 天井、内部隔て板	石綿セメント板	4.0mm	473.9 m ²	○ 除去
①管理棟：廊下・ホール・事務 室等（床）	ビニル床シ ート	3.0mm	209.4 m ²	○ 除去
②スタンド：便所・階段・ 外廊下（天井）	石綿セメン ト板	6.0mm	194.5 m ²	○ 除去

3. 除去・撤去作業計画について

作業期間：令和6年11月中旬～令和6年12月下旬（予定）

作業時間：午前8時30分～午後5時30分（土・日・祝日を除く）

原則、土日祝日は休み。作業期間については現場の進捗により前後します。

除去方法：各関係法令を遵守して作業を行います。

■具体的な除去方法

・成形板__床（長尺シート）、天井・壁ボード等



●手ばらしによる除去

湿潤化によりアスベストの飛散をふせぎながら、可能な限り手作業で原形のまま丁寧に撤去します。

・仕上げ塗材__塗装、下地モルタル等



●集じん装置付ディスクグラインダーケレン工法

除去箇所をプラスチックシート等で覆い、吸引装置で粉じんを吸引しながら、機械でアスベスト含有建材を削り取ります。タイル部においては法令に則った養生を行い、タイルを電動工具で撤去したのち、集じん装置付ディスクグラインダーケレン工法を用います。

・運搬、処分について



除去したアスベストは他の廃棄物と混ざらないようにし、プラスチック袋（透明）につめ、飛散、流出ないように密封します。袋詰めしたアスベストは指定された場所に集積します。車両積み込み時は袋の損傷がないように原則人力で積みます。



重機等を使用して積み込む場合はフレコン袋を利用し、重機が袋等に触れないように積み込みを行います。運搬時には車両に飛散防止シート掛けを行い、車両の側面に産業廃棄物の運搬が分かるように許可番号を明示し運搬します。保管所・積替え施設を経由せずに最終処分場まで直送します。アスベストの最終処分は必ず「特別管理産業廃棄物処分業許可」を受けた処理場で処分します。

4. アスベストに関する情報の掲示について

本工事において皆様へアスベストに関する情報は仮囲いへの掲示と現場事務所において公開します。

①仮囲いに掲示する内容

・事前調査結果（調査結果概要（アスベスト含有建材・調査者））を仮囲い掲示板に掲示

②現場事務所での閲覧内容

・事前調査報告書

・アスベスト除去に関する各種届出

・アスベスト除去の施工計画書

添付資料⑥家屋調査範囲図

